

伝統と創造 第2師団創立67周年 旭川駐屯地開設65周年 記念行事



部隊を巡視する高田師団長

第2師団（師団長・高田克樹陸将）は、第2師団創立67周年と旭川駐屯地開設65周年を迎える創立記念行事を6月18日、旭川駐屯地で行った。

今年のテーマは「伝統と創造」。地域と共に歩み、先人の伝統を継承しつつ陸上自衛隊の大改革と部隊実験推進など未来を創造する第2師団を表現した。また、航空自衛隊千歳基地の第2航空団よりF-15の展示飛行が実現した。

観閲式から観閲行進に移る間、グラウンドは散水車3台が縄で繋がれているかの様にびったりとした動きで水を巻いていた。その一糸乱れぬ姿に「さすがあ〜」との声が聞こえていた。

観閲式で師団長は、隊員1200名を前に「第2師団が所在する道北地区は、屯田兵以来125年の長きにわたり、道北市町村の皆様との間に築かれた温かい信頼関係を礎とした地域」「事に臨んでは危険を顧みず身を持って責務の完遂に努めもって国民の負託に応えることを誓う」という服務の本旨に立ち返ることが重要。「今に即応し、将来に備えなければならない」と式辞を述べ、車両160台が威風堂々の行進を行い来場者から大きな拍手が送られた。

特に今回は、道北55市町村旗も各警備担任部隊とともに行進し郷土愛は地域と共にここにすることを表現した。また、この日は、27度という暑い日だったが、2時間以上、微動だにしない観閲式参加の隊員たちに、来場者は驚いていた。

その後の訓練展示では、本格的陸上作戦における攻撃戦闘の一連を第26普通科連隊を基幹に公開。偵察活動では、無人機（UAV）も運用して先進的な情報活動も公開し迫力と臨場感ある訓練を披露した。

来場者からは、「F-15を見て良かった」「戦車3世代は圧巻」「ドローンも駆使して戦う姿を見て面白かった」「間近でみる戦闘訓練は迫力十分」などの声が多く聞かれた。招待客からは「細かい所まで気配りの行き届いた良い記念行事でよかったね」と満足そうに話していた。

アトラクション会場では、装備品展示、体験試乗、模擬売店、音楽演奏、ふわふわドーム、広報コーナーなど様々な催し物で来場者は多いに楽しみ炎天下の会場は盛り上がりを見せ成功裏に記念行事を終了した。



10式戦車と市町村旗

地域とともに歩む北鎮師団 55市町村と観閲行進



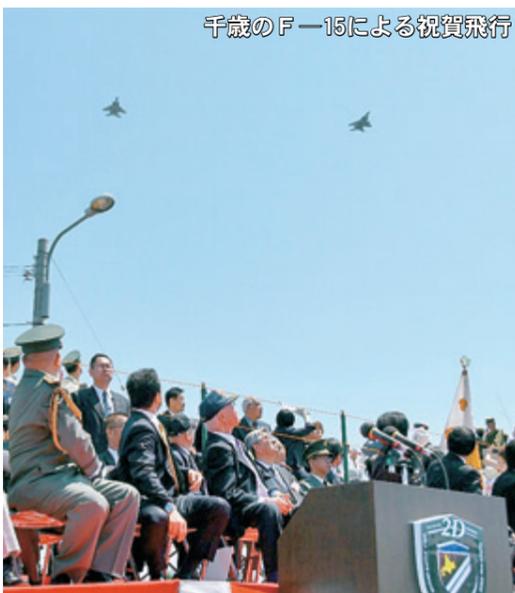
隊区内の全市町村旗の行進



国旗に対し荣誉礼



一糸乱れぬ徒歩後進



千歳のF-15による祝賀飛行



桜と一緒に記念撮影



●●●●●●●●●●



大人気の第2音楽隊による演奏



炎天下に立ち続ける